

指導資料

小学校外国語 第5号

鹿児島県総合教育センター

令和2年4月発行

対象

小学校 中学校 義務教育学校

校種

特別支援学校

言語活動のツボ — 英語を使ってやりとりを! —

今年度より全面実施される小学校学習指導要領では、言語活動を通してコミュニケーションの素地や基礎となる資質・能力の育成が求められている。そこで、小学校外国語教育における「言語活動」とはどのような活動であるのかについていくつかの事例を示す。

小学校外国語活動・外国語科の目標に示されている言語活動って？



具体的にどんな言語活動の工夫をしたらいいの？



そんな困った！へ必見です！
言語活動の解説 & 事例の紹介

言語活動とは、一言で表すと「英語を使って互いの考えや気持ちを伝え合う活動のこと」。英語の音声に十分触れ、実際に使ってみることが重要です。

本資料のナビゲーター



&



言語活動は外国語活動や外国語科において核となるものである。言語活動は外国語活動では「聞くこと」と「話すこと」であり、外国語科では「読むこと」と「書くこと」が加わる。ここでは、教材の活用、Smll Talk 等に関する言語活動例について紹介する。

1 言語活動について

小学校学習指導要領解説外国語活動・外国語編（平成29年告示）において、外国語活動及び外国語科の目標として次のように言語活動を通して、コミュニケーションを図ることが示された。

外国語活動・外国語科の目標

〈外国語活動の目標〉

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、話すことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

〈外国語科の目標〉

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、話すこと、読むこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

学習指導要領の外国語活動や外国語科においては、言語活動は「実際に英語を用いて互いの考えや気持ちを伝え合う」活動を意味する。実際に英語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合うという言語活動の中では、情報を整理しながら考えなどを形成するといった「思考力、判断力、表現力等」が活用されると同時に、英語に関する「知識及び技能」が活用される。

2 言語活動の実践

(1) 教材を活用した言語活動例

『We Can!』1 Unit 1 "Hello, everyone. (文部科学省)

Let's Listen 登場人物がどのようなものが好きかを聞いて、線で結ぼう。

1  Kosei	2  Saki	3  Satoshi	4  Aoi
 	 	 	 

【イラスト情報に関するやりとり】

Look at picture.

What is this? (物・色・形など)

What do you see? Who is he/she?

How do you spell ~?

How many ○○?



【自分のことに関するやりとり】

Do you like ○○? (物・色等)

Do you have ○○? (物・動物等)

Can you play ○○?

What ○○ do you like?



児童に音声聞かせる前に、教師と児童が英語でのやりとりを行うことで既習内容の想起や繰り返し、情報の整理などがされ、児童は自信をもって聞いたり答えたりすることが可能となる。また、自分のことについて、児童相互によるやりとりを行うことで、自分の考えや思いを伝え合う必然性が生まれ、英語を使って双方向によるやりとりの楽しさを実感することができる。このように「Let's listen」の活動等において、単なる聞いて答える活動とせず、どのような言語活動が有効であるかを考え、より多くの英語を使ってやりとりを行うなどの工夫をしていくことが大切である。



たしかに！これまで「Listen to the CD」と指示を出して、CDを聞いた後に線で結び、結果を確かめる活動だけに終止していたな。インプットしたことを多くの場でアウトプットする！なるほど納得！



(2) Small Talk の事例



Small Talk って具体的にどうすることなのかな。Small Talk を取り入れた言語活動を工夫したい！

Small Talk

○ねらい

- ・ 既習表現を想起させる。
- ・ 知識を活用させる。
- ・ 会話をつなぐ。

○方法

- ・ 教師による児童への話し掛け
- ・ 教師と児童とのやり取り
- ・ 児童同士のやり取り

○ポイント

- ・ その日に想起させたい表現を決める。
- ・ その表現を中心とする短めの話から始める。
- ・ 反応する、繰り返す、言い換える、称賛するなどできるだけ多くの英語に触れる機会を増やす。



Small Talk とは、指導者のまとまった話を推測しながら聞いたり、ペアで自分の考えや気持ちを伝え合ったりすることである。具体的には、児童が興味・関心のある身近な話題について、自分自身の考えや気持ちを楽しみながら伝え合う中で、既習表現を繰り返し使用する機会を保障し、その定着を図るために行うものである。授業の初めに相手を替えながら対話的な活動が有効である。以下に Small Talk を紹介する。



Small Talk (例) 教師対 児童

My name is Hana. What is your name?

My name is Saki.

Oh! Saki. Nice name.
How do you spell your name?

S-a-k-i.

I see. Good!

I'm from Akune.
Where are you from?

I'm from Hioki.

Oh! Hioki.

What do you like about Hioki?

I like Fukiage *onsen*. We can relax.

Oh! You like Fukiage Hot spring.
Me too.

I like nattos.
What food do you like?

I like pizza.
Spicy and delicious.

Yeah, You like pizza. Spicy and delicious.
I think so too.

When is your birthday?

10月9日.

Oh! Your birthday is October 9th.
Good day.

Yes! My birthday is October 9th.

My hobby is volleyball.
Can you play volleyball?

No, I can't. I can't play sports.
But, I can make bread.
I want to be a baker.

That's nice dream.

Go well

相づちや感想

Go well

言い換え, 繰り返し

既習の想起
表現のモデル提示

Small Talk を生かした "This is me" の紹介・話題例

Hello. My name is ().
I'm from (〇〇 elementary school.)
I like (動物・食べ物・色・スポーツ・教科等)
It's (delicious./fun./cute./...理由:気持ちや考え)
I have a dog.
It's very cute.
My hobby is playing the piano.
I can play the piano very well.
I have a dream.
I want to be a pianist.

I like cakes.

好きな物
持っている物
趣味
将来の夢
気持ちや考え

Why?
I see.

How about you?
Please introduce yourself.

このように、教師と児童が簡単な語句や基本の表現を用いながらやりとりを行う。

Small Talkを行う際は、誰かになりきって話したり、役を演じて擬似的な対話をしたりするのではなく、指導者や児童が自分自身に関する本当の出来事や気持ちなどについてやり取りができるようになる。そのような表現内容の授受を楽しむ中で教師は、児童が既習表現を想起できるように、日本語を英語で言い換えたり、表現を繰り返したり、相づちや感想を付け加えたりしながらなどのモデルを示し、既習表現や対話を続けるための基本的な表現の定着を図ることが大切である。

さらに、児童同士でのやりとりに発展させたり、Small Talkでのやりとりを生かして、"This is me"などの自己紹介へ生かしたりなど。一つの活動が次の活動とつながるような意味のある言語活動を工夫することも大切である。「本当のことを話したい!」、面白そう、もっと聞いてみたい!と児童がわくわくしながら、身近な話題で楽しく話せる Small Talk を目指したい。

(天気に関する話題から)

T: It's cold today.

C: Yeah, I want to eat hot food.

T: That's good! What food do you eat?

(週末の出来事に関する話題から)

T: What did you do last weekend?

C: I made cookies.

C: I watched a soccer game.

(行事に関する話題から)

T: School trip will come soon.

T: What do you want to do?

3 様々な言語活動例

言語活動のetc...
Trial version

わいわいtime(児童同士)



今日のトップフレーズ
Your birthday.
What do you want?

What do you want?

I want a soccer ball.

I see. That's nice!

How about to you?

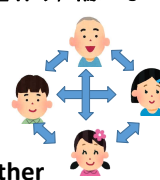
I want a dog.

You want a dog?
Me too.

Yeah. Dog is cute.
I like dog.

【目的】 既習の語句や表現を使いながらなるべく多く、会話をつなぎながら双方向によるやりとりを行う。(時間2～3分間)
〔クラスルームイングリッシュ&進め方〕

- ① Make a circle with four people.
4人(人数は調整)でグループを作り、輪になる。
- ② Please take one card.
カードを1枚引き、トップワードやフレーズを決める。
- ③ Let's わいわいtime together
トップワードやフレーズを使って、質問したり答えたりする。その際、相づちや感想、言葉の付け加え、繰り返しの言葉、ジェスチャー等を用いしながら、できるだけ長く会話をつなぐ。



Let's chain game!
What's this?

一つのワードから連想を広げていく活動



I love Pooh.

Me too.

It's cute.

It's yellow.

This is bananas.

Start!

I have a bag.

Good!

Color is brown.

You can see many animals.

I see.

Monkeys like bananas.

I want to go to zoo.

Oh! Yes.

To do!
This is okay!

どうしたらいいの?

Q1 教室英語の力をつけたい!
まずは何から始めたらいいの?

- ① 褒め言葉や反応の言葉など短い語句や表現を使う。(ターゲットを絞り込んで少しずつ使う)
- ② あいさつや活動に関する表現は3語程度を目標に表現する。
(例: Make pairs. Time's up.)
- ③ ALTに学びALTの表現を真似る。
※ 毎回の授業で少しずつ英語での表現を加えていくことが大事。使って習得を目指す!

Q2 評価をするときの留意点って?

- ① 各年度末の時点で5領域それぞれにおける3観点全てについての評価情報を残しておく。
(各学期末の時点で全ては不要)
- ② パフォーマンス評価については、学期に1回程度複数の単元終了後に実施することが考えられる。内容は、既習内容であること、コミュニケーションの目的、場面、状況を変えて行う必要がある。
※ 詳細は、小学校外国語科の学習評価の6ステップ(R2.2.4 県義務教育課資料参照)

英語を用いて多様なやりとりを行い、本当に伝えたいことが伝えられた喜びや伝わった成功経験を重ねていくことで、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度が高まる。そのためには、場面や状況など必然性のある言語活動の工夫を行っていくことが必須となる。また、教師は、学級全体に「間違えても大丈夫!」という雰囲気をつくり、自分自身が英語を積極的に使おうとするモデルとなり、間違いを修正したり、新たな知識を習得したりしながら、児童とともに学ぶ姿を見せることが大切である。

Skill up while using

Now is the time to start!

必然性のある場面設定、児童の身近な生活やコミュニケーション場面との関連付けなどに配慮し、児童自らが思考し主体的に英語でのやりとりを楽しむ体験が重ねていけるよう、言語活動の充実を目指してほしい。

〈参考文献〉

小学校学習指導要領外国語活動・外国語解説 (文部科学省)

小学校外国語活動・外国語科研修ガイドブック (文部科学省)

Let's try! 1・2 / We can! 1・2

(文部科学省)

教職研修課 田子山 ゆかり)

